

図書館だより No. 5

令和6年9月
大洲中学校図書館



まだまだ暑いです…



みなさんこんにちは。9月になったというのに、まだまだ暑い日が続いています。暦の上ではすでに“立秋”を迎え(今年は8月7日)ているのに秋らしさはまったく感じられませんよね。

しかし、世の中は立秋を境にして“暑中見舞い”が“残暑見舞い”に変わり、そして9月22日の“秋分の日”からは夜の時間帯が少しずつ長くなっていきます。10月に入ってから暑い日々が続く可能性が高い2024年。健康管理には十分に注意しましょうね。

さてみなさん、夏休み明け恒例の“1学期間中にたくさん本を借りた人 Best3”の発表です。

・第1位 1年生女子 44冊 ・第2位 2年生女子 35冊 ・第3位 2年生女子 31冊

1学期の貸出期間は実質3か月でしたから、この生徒さん達のひと月の平均読書量は10冊から14冊です。1冊を2日~3日ペースで読んでいる計算になります。実に素晴らしいことだと思います。

全国学校図書館協議会の調べ(全国のサンプル校から抽出された3317人の中学生を調査)によると、2023年5月の1か月間に中学生が読んだ本の数は5.5冊だったそうです。大洲中のみなさんは、この夏休みにどのくらい読みましたか?これから読書の秋を迎えます。みなさん、二学期からもまたたくさん本を借りに来てくださいね。

新規購入図書のご紹介

新たに本を10冊購入しました。9月末までには到着する予定なので楽しみにしていて下さいね。では、その10冊をご紹介します。



①『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。Another』 汐見夏衛 著

大ヒット映画「あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。」から派生した短編集。自分の気持ちを最後まで口にできなかった彰。どんなに厳しい状況でも明るく人を笑わせた石丸。そして一途に彼を想い続ける千代。厳しい時代を生きぬいた彼らのその後に注目!



②『あの星が降る丘で、君とまた出会いたい。』 汐見夏衛 著

「あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。」の続編。中学二年生の官原涼は転校先の学校で不思議な女の子、加納百合と出会う。初めてのはずなのに、なぜか懐かしくとても心惹かれた。そして親しくなるにつれ、勇気を出して告白しようとしたとき、百合が驚くべき過去を打ち明ける。



③『学校に行かない僕の学校』 尾崎英子 著

中学二年の薫は、森の中の寮付きのフリースクールに行くことになった。様々な理由で集まる子どもたち。校長で寮母の“まいまい”、先生のまど兄が生徒を優しく見守る。薫は不登校になるきっかけとなった出来事を「話すことは、離すこと」と言われ、徐々に口に出すようになる。虐待の記憶に苦しむ銀河。親の離婚と母の再婚などで来所したイズミ。彼らはお互いに話をしつつ、いつしかお互いを支え合い成長していく。



④『真夜中のマリオネット』 知念実希人 著

殺した後、一晩かけて遺体をバラバラにする殺人鬼、通称「真夜中の解体魔」。婚約者を殺された救急医の秋穂は、深い悲しみを抱えながらもなんとか職場に復帰をしたところだった。そこに運ばれてきたのは、交通事故で重傷を負った美少年の涼介。実はこの彼こそが「真夜中の解体魔」！？

衝撃のクライマックスに、きっとあなたは絶叫する。 知念実希人が贈る究極のサスペンス



⑤『5分後に恋の結末 青い空の下、恋は続く。』 橘つばさ・桃戸ハル 著

大人気シリーズの「5分後に意外な結末」。その中で、女子に圧倒的な支持を得ている「恋の結末」の第5弾が登場！ 性格の異なる女子3人組を中心に、「キュンとする青春」「ピリッとする恋の教訓」が散りばめられた連作短編集。もちろん、全編、意外な結末！



⑥『透明なルール』 佐藤いつ子 著

「人にどう思われるか」を過度に気にする女子中学生が、自分を縛る＜透明なルール＞に気づき、立ち向かっていく爽やかな物語。人との比較を前提とした現代の子どもたちの生きづらさを、繊細な筆致で描いています。青春小説の王道のテーマに真正面から取り組んできた著者が、「同調圧力」「ブラック校則」「不登校」といった社会問題を織り込んで挑む新たな代表作。



⑦『放課後ミステリクラブ 4』 知念実希人 著

ある夏の夕方、学校の飼育小屋からウサギが消えた。

だが、なぜ、どのようにして、密室である小屋からウサギを連れ出したのか。

4年1組、辻堂天馬・柚木陸・神山美鈴の通称「ミステリトリオ」が再び動き出す。



⑧『文豪死す 6人の文豪たちの最後の傑作』 新紀元社 編集

≪収録作品≫ 芥川 龍之介『歯車』・太宰 治『グッド・バイ』・梶井 基次郎『のんきな患者』

中島 敦『李陵』・夢野 久作『女抗主』・泉 鏡花『緋紅新草』

中学生、高校生のうちに一度は読んでおきたい6人の文豪たちの最後の傑作。なぜ彼らが文豪と呼ばれるのかがわかる傑作小説作品集。それぞれの生涯を読み解く年表、代表作紹介、人物相関図、ゆかりの地など、文豪の仕事と人間像がわかるガイドも充実。



⑨『なんで死体がスタジオに!?!』 森バジル 著

がけつぷちプロデューサー幸良涙花が進退をかけた番組の本番直前に出会ったのは大御所俳優の

勇崎 恭 吾の死体であった。生放送開始まであと20分。果たして幸良は特番を乗り切れるのか!?!

そして、この事件の犯人は？



⑩『マンガでわかる!小学生から知っておきたいお金のトラブル回避術』 菊地幸夫 監修

友だちと気軽に貸し借りしたり、ICカードを使いすぎでしまったり、ゲーム課金で高額請求されたり。お金の使いすぎや貸し借りなどついやってしまいがちなトラブルから、フィッシング詐欺、闇バイトといった犯罪につながる内容まで、菊地幸夫弁護士の監修のもと、万が一トラブルに遭ってしまった時の心構えや対処法をマンガを交えて分かりやすく解説しています。

では、二学期も頑張りましょうね。みんなの元気な笑顔をお待ちしていま～す。

